

## 1. 需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」（昭和40年法律第109号）により、でん粉に関して適切な価格調整を図るため、半期ごとにでん粉の需給見通しを公表している。9月に公表したでん粉の需給見通しの概要は、次の通り（詳細は2022年11月号参照）。

でん粉の需給見通し	
<b>【令和3でん粉年度（見込み）】</b>	
需要量	242万3000トン（前年度比1.7%増）
供給量	244万5000トン（同0.9%増）
<b>【令和4でん粉年度（見通し）】</b>	
需要量	249万トン（同2.8%増）
供給量	250万2000トン（同2.3%増）

表1 でん粉の需給見通し

（単位：千トン）

		令和2でん粉年度 （実績）		令和3でん粉年度 （見込み）			令和4でん粉年度 （見通し）		
		計	10-3月	4-9月	計	10-3月	4-9月	計	
需要	糖化製品	1,625	736	886	1,622	782	893	1,675	
	化工でん粉	265	134	133	266	136	141	277	
	その他（製紙用、ビール用、片栗粉など）	493	245	290	535	242	295	538	
	合計	2,382			2,423			2,490	
供給	前年度繰り越し	32			40			21	
	国産いもでん粉（生産量）	国産いもでん粉（生産量）	186	171	—	171	186	—	186
		かんしょでん粉	21	21	—	21	27	—	27
		ばれいしょでん粉	165	150	—	150	159	—	159
	調整金 徴収 対象	コーンスターチ	2,048	944	1,133	2,078	983	1,148	2,130
		輸入でん粉 （糖化製品、化工でん粉用）	131	60	68	128	68	68	136
	輸入でん粉（その他用）	9	6	7	13	7	7	14	
	小麦でん粉	15	8	8	16	8	8	16	
	合計	2,422			2,445			2,502	
	次年度繰り越し	40			21			12	

資料：農林水産省「でん粉の需給見通しについて」

注1：でん粉年度とは、10月から翌9月まで。

注2：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

表2 国内産いもでん粉の需給見通し

(単位：千トン)

		令和4年10月～令和5年3月 (見込み)			令和5年4月～9月 (見通し)			令和4でん粉年度計			
		かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	上期計	かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	下期計	かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	計	
需要	交付金 対象 用途	糖化製品	7	12	19	7	10	17	14	22	36
		化工でん粉	1	17	18	1	15	16	2	32	34
		その他	6	23	29	5	24	29	11	47	58
		小計	14	52	66	12	49	62	27	101	128
	その他の用途	0	29	29	0	38	38	0	67	67	
	計	14	81	96	12	87	99	27	168	195	
供給	前期からの繰り越し	4	18	21	16	95	112	4	18	21	
	生産量	27	159	186	0	0	0	27	159	186	
	計	31	176	207	16	95	112	31	176	207	
次期への繰り越し		16	95	112	4	9	12	4	9	12	

資料：農林水産省「でん粉の需給見通しについて」

注1：でん粉年度とは、10月から翌9月まで。

注2：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注3：交付金対象用途の「その他」について

ばれいしょでん粉は、菓子類、麺類、水産練製品、冷凍調理食品、食肉製品、調味料、板紙（層間接着用）、水産養殖用餌料などである。

かんしょでん粉は、菓子類、麺類、水産練製品、冷凍調理食品、食肉製品、建材などである。

注4：交付金対象用途外の「その他の用途」は、片栗粉などである。

## 2. 輸入動向

### 【タピオカでん粉の輸入動向】

#### 11月の輸入量は前年同月からやや増加

財務省「貿易統計」によると、2022年11月のタピオカでん粉の輸入量は、1万2646トン（前年同月比5.8%増、前月比92.4%増）と、前年同月からやや増加した（図1）。

輸入先はタイ、台湾、ベトナムおよびブラジルで、国・地域別の輸入量は次の通りであった。

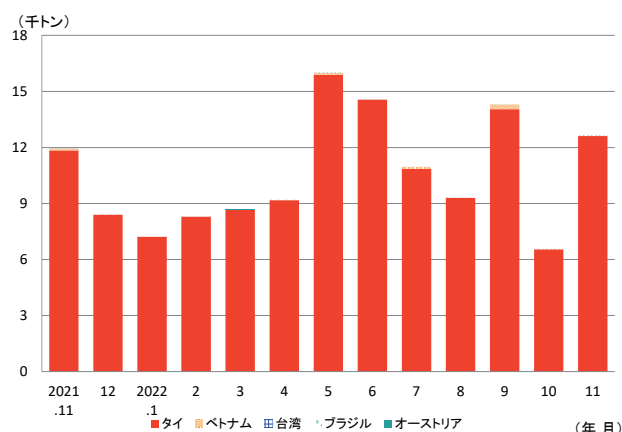
タイ 1万2617トン  
（前年同月比6.5%増、前月比92.6%増）

台湾 15トン  
（同17.2倍、同98.6%増）

ベトナム 8トン  
（同91.9%減、同17.2%減）

ブラジル 6トン  
（同35.0%増、同2.3倍）

図1 タピオカでん粉の国・地域別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード1108.14-010、1108.14-020、1108.14-090、1108.14-091、1108.14-099

2022年11月の1トン当たりの輸入価格は、8万4161円（前年同月比50.0%高、前月比1.3%安）と、前年同月を大幅に上回った（図2）。

国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

タイ 8万3440円  
（前年同月比49.1%高、前月比1.0%安）

台湾 44万946円  
（同37.7%安、同10.8%安）

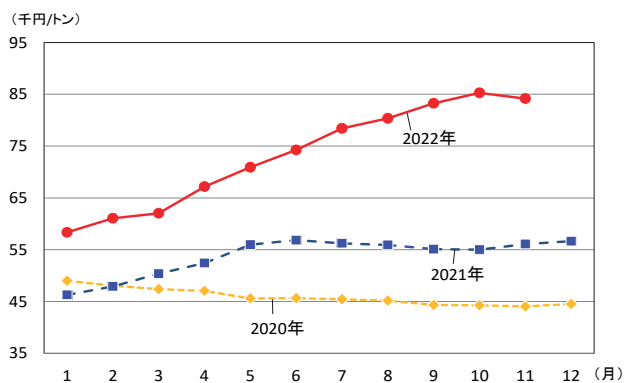
ベトナム 29万9758円

(同5.5倍、同11.8%安)

ブラジル 41万5836円

(同57.9%高、同24.5%高)

図2 タピオカでん粉の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」  
 注：HSコード1108.14-010、1108.14-020、1108.14-090、1108.14-091、1108.14-099

### 【サゴでん粉の輸入動向】

#### 11月の輸入量は前年同月から大幅に増加

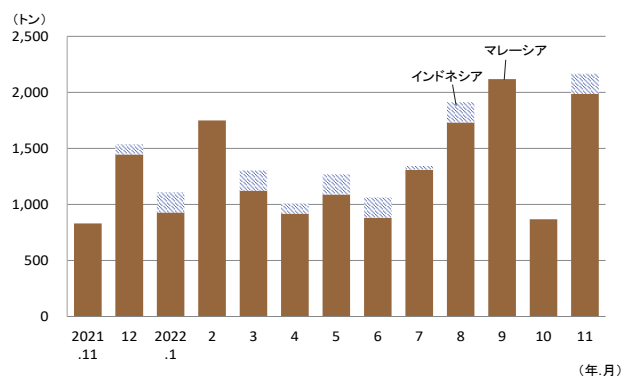
財務省「貿易統計」によると、2022年11月のサゴでん粉の輸入量は、2168トン（前年同月比2.6倍、前月比2.5倍）と、前年同月から大幅に増加した（図3）。

輸入先はマレーシアおよびインドネシアで、国・地域別の輸入量は次の通りであった。

マレーシア 1988トン

(前年同月比2.4倍、前月比2.3倍)

図3 サゴでん粉の国・地域別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」  
 注：HSコード1108.19-011、1108.19-012、1108.19-017、1108.19-018、1108.19-019

インドネシア 180トン

(前年同月および前月輸入実績なし)

2022年11月の1トン当たりの輸入価格は、12万1849円（前年同月比98.8%高、前月比10.3%高）と、前年同月を大幅に上回った（図4）。

国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

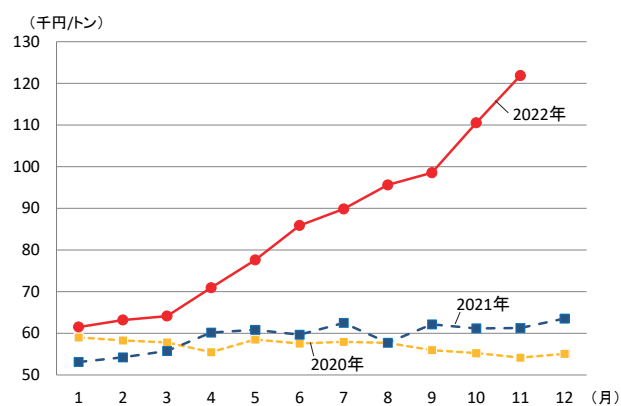
マレーシア 12万2984円

(前年同月比2.0倍、前月比11.3%高)

インドネシア 10万9317円

(前年同月および前月輸入実績なし)

図4 サゴでん粉の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」  
 注：HSコード1108.19-011、1108.19-012、1108.19-017、1108.19-018、1108.19-019

### 【ばれいしょでん粉の輸入動向】

#### 11月の輸入量は前年同月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2022年11月のばれいしょでん粉の輸入量は121トン（前年同月比87.2%減、前月比6.1倍）と、前年同月から大幅に減少した（図5）。

輸入先はオランダおよびデンマークで、国・地域別の輸入量は次の通りであった。

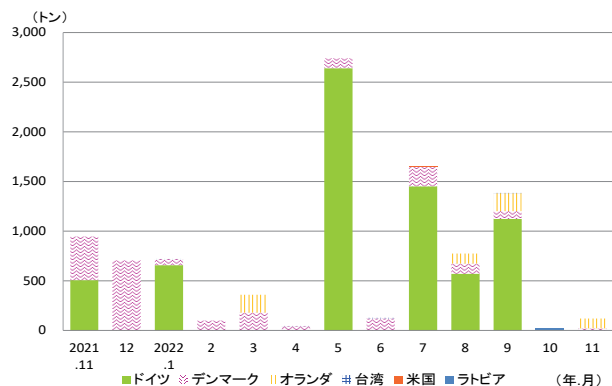
オランダ 100トン

(前年同月および前月輸入実績なし)

デンマーク 21トン

(前年同月比95.2%減、前月輸入実績なし)

図5 ばれいしょでん粉の国・地域別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード1108.13-010、1108.13-020、1108.13-090、1108.13-091、1108.13-099

2022年11月の1トン当たりの輸入価格は、12万3752円（前年同月比35.0%高、前月比5.4%高）と、前年同月を大幅に上回った（図6）。

国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

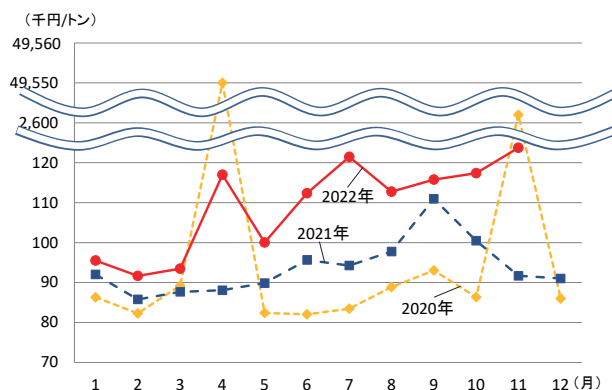
オランダ 12万2980円

（前年同月および前月輸入実績なし）

デンマーク 12万7429円

（前年同月比42.8%高、前月輸入実績なし）

図6 ばれいしょでん粉の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード1108.13-010、1108.13-020、1108.13-090、1108.13-091、1108.13-099

### 【でん粉誘導体の輸入動向】

#### 11月の輸入量は前年同月からやや増加

財務省「貿易統計」によると、2022年11月のでん粉誘導体の輸入量は、3万2196トン（前年同

月比4.3%増、前月比7.4%減）と、前年同月からやや増加した（図7）。

でん粉誘導体の輸入先は18カ国・地域で、最大の輸入先はタイであった。主要輸入先からの輸入量は次の通りで、タイが輸入量の約7割を占めており、次いでベトナム、フランスとなっている（表3）。

表3 でん粉誘導体の主要輸入先および輸入量（11月）

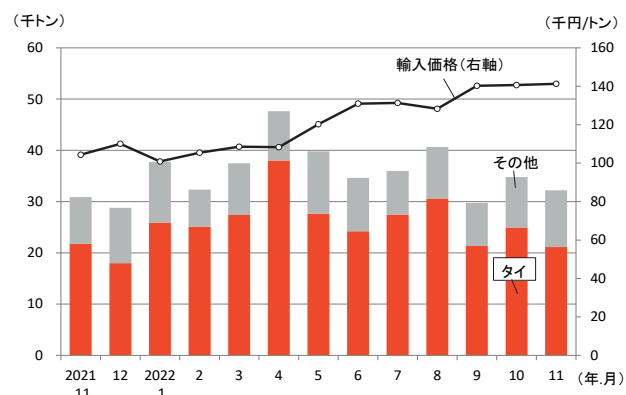
輸入先国	輸入量（トン）	シェア
合計	32,196	100.0%
うち タイ	21,136	65.6%
ベトナム	3,280	10.2%
フランス	1,707	5.3%
デンマーク	1,076	3.3%
米国	1,030	3.2%
スウェーデン	880	2.7%

資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード3505.10-100

2022年11月の1トン当たりの輸入価格は、14万1290円（前年同月比35.4%高、前月比0.5%高）と、前年同月を大幅に上回った。

図7 でん粉誘導体の輸入量および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード3505.10-100

### 【デキストリンの輸入動向】

#### 11月の輸入量は前年同月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2022年11月のデキストリンの輸入量は、885トン（前年同月比38.9%減、前月比0.2%減）と、前年同月から大幅

に減少した（図8）。

デキストリンの輸入先は11カ国・地域で、輸入量は上位輸入先の数量および各国のシェアも含め、月ごとの変動が大きい。

上位輸入先からの輸入量は次の通りで、米国、タイおよびベトナムで輸入量の約7割を占めている（表4）。

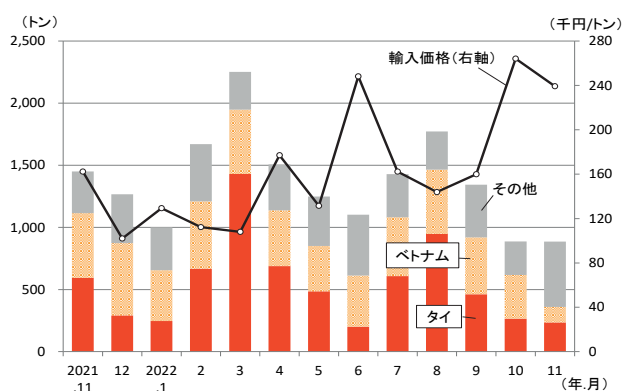
表4 デキストリンの主要輸入先および輸入量（11月）

輸入先国	輸入量（トン）	シェア
合計	885	100.0%
うち 米国	241	27.2%
タイ	235	26.6%
ベトナム	125	14.2%
フランス	60	6.8%
ベルギー	58	6.5%
オランダ	50	5.6%

資料：財務省「貿易統計」  
注：HSコード3505.10-200

2022年11月の1トン当たりの輸入価格は、23万9188円（前年同月比47.4%高、前月比9.5%安）と、前年同月を大幅に上回った。

図8 デキストリンの輸入量および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」  
注：HSコード3505.10-200

**【コーンスターチ用トウモロコシの輸入動向】  
11月の輸入量は前年同月から大幅に増加**

財務省「貿易統計」によると、2022年11月のコーンスターチ用トウモロコシの輸入量は、32万3386トン（前年同月比40.4%増、前月比96.1%増）となり、前年同月から大幅に増加した（図9）。

輸入先は、米国、ブラジル、アルゼンチンおよび南アフリカで、国・地域別の輸入量は次の通りであった。

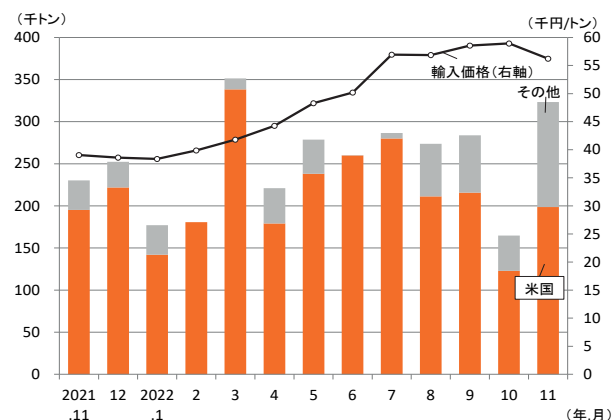
- 米国 19万8646トン  
（前年同月比1.7%増、前月比61.7%増）
- ブラジル 11万2815トン  
（同45.1倍、同3.2倍）
- アルゼンチン 6250トン  
（前年同月輸入実績なし、同2.3倍）
- 南アフリカ 5675トン  
（前年同月比82.5%減、同49.8%増）

2022年11月の1トン当たりの輸入価格は、5万6227円（前年同月比44.0%高、前月比4.6%安）と、前年同月を大幅に上回った。

国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

- 米国 5万7036円  
（前年同月比44.2%高、前月比4.8%安）
- ブラジル 5万4744円  
（同63.4%高、同1.3%安）
- アルゼンチン 5万9220円  
（前年同月輸入実績なし、同3.4%安）
- 南アフリカ 5万4104円  
（前年同月比48.4%高、同5.6%安）

図9 コーンスターチ用トウモロコシの輸入量および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」  
注：HSコード1005.90-091